

令和2年度

# 新野小学校 「学力向上実行プラン」

## 学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 一人ひとりの子どもを見取り、個にあった支援の工夫
- 学校と家庭との連携による家庭学習・自主学習習慣の定着

## 学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 研修主任 尾川弘美	委員 校長:岸本信和 生徒指導主任:古川貴祥 人権教育主事:枝川浩子 保健主事:森 聖子 講師:岩佐航太	教頭:平島裕志 教務主任:西谷道裕 特支コーディネーター:中西可奈江 教諭:大野祐子 講師:橋詰友佳

校長

岸本 信和



【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

### ◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

#### (1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子どもの姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○基礎的・基本的な知識・技能の習得や与えられた課題にまじめに取り組む児童が多い。 ●どの学年にも学習の定着が図れなかったり、時間が経つと忘れてしまった児童がいる。個人差が大きい。	・学習の過程を通して習得した知識が、既習の知識と関連付けられ、他の学習の場面で活用することができる。 ・身に付けた個別の技能についても、他の学習や生活の場面において活用することができる。	・朝活や家庭学習、「花まるタイム」などを利用し、読み書き計算等の反復練習に取り組む時間を確保する。また、読解力の基礎となる読書習慣を身につけさせる。 ・児童の興味をもって学習に取り組むことができるように発問など工夫する。			

#### (2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子どもの姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○これまでの学習を振り返り、与えられたヒントを活用して課題解決をしようとする児童が多い。 ●課題に応じて、必要な情報を取り入れ、自分の考えを文章や図表などでまとめ、根拠をもとに発表したりすることに課題がある。	・各授業における課題に対して、話し合い活動等により解決する方法を考えることができる。 ・自分の思いや考えをもち、根拠を明らかにしながら、適切な言語活動により表現することができる。	・ペア学習やグループ学習の機会を効果的に設定する。 ・ホワイトボードやICTを効果的に活用した発表や話し合い活動をさせる。 ・実態に応じためあてをもたせ、書く・発表する機会を意図的に多く設ける。(テーマ日記・行事作文・学年発表・学習発表会など)			

#### (3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子どもの姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○新しい学習内容に興味関心をもち、意欲的に取り組もうとする。また家庭学習にもまじめに取り組むことができる。 ●決められたことはできるが、自ら進んで取り組むことが苦手な児童が多い。不得意な内容の克服に課題がある。	・各教科の学習に主体的に取り組み、学ぶ楽しさを感じ自信をもつことができる。 ・自分の学習の状況をしっかりと振り返り、自らの課題を解決できるよう計画を立て、実践することができる。	・児童の主体的な体験や活動を授業に多く取り入れ、意欲的な活動を称賛する。 ・授業のめあてを提示し、振り返りの視点を示し、記述させる。 ・家庭との連携を密にし、家庭学習の習慣化や自主学習の定着化を図る。			

## 令和2年度 学力向上ロードマップ

